

## 2022 年度 カリキュラム委員会総会

日時：2023 年 3 月 27 日（月）18:00～（1 時間程度を予定）

形式：オンライン会議

カリキュラム委員会 出席予定者(敬称略)

学部内委員: 医学部長, 教員 8 名, 学生代表 2 名

学部外委員: 医系科学研究科長, 保健学科長, 広島大学病院医科領域臨床教育センター長, 広島県医師会長

※欠席

広島市民病院長, 医学科後援会長, 広島大学病院長

審議事項

1) 委員会の趣旨と委員の構成について（資料 1）

資料 1 について説明があった。

2) 令和 4 年度に実施したカリキュラム改革の概要（資料 2, 3,）

資料 2 について現在のカリキュラムについて説明があった。共用試験及び MD-PhD コースについて補足説明があった。

資料 3 について説明があった。

3) 令和 4 年度の委員会などの活動および決定事項について(資料 4)

資料 4 について説明があった。臨床実習前 OSCE の公的化や認定評価者制度について補足説明があった。

4) 令和 5 年度に実施するカリキュラム改革の概要（資料 5）

資料 4 について説明があった。来年度モデルコアカリキュラムの改訂への対応を行ない, 令和 6 年度から新コアカリキュラムに基づいたカリキュラムを実施する旨説明があった。

分野別認証について 2 巡目として 2024 年度の冬に受審するための対応を来年度行っていく旨説明があった。

アンプロ学生について質問があり, 学生時代からアンプロな行動を教育していく旨説明があった。

#### 5) 令和4年度に行われた教育に関する資源の活用と配分（資料6）

資料6について説明があった。3D遠隔医療システムの整備やスキルラボの設備等について説明があった。

#### 6) 委員からの意見聴取

保健学科長から学生への細かな取り組みは高く評価しているので継続してもらいたいとコメントがあった。

学生委員からはいつも学生部会で学生の意見を丁寧に吸い上げてもらっているのが有難いと感じている旨コメントがあった。

学生委員から、初修外国語に中国語が選べることになったのが良かった、学生部会の実施について引き続き実施してもらいたい旨コメントがあった。

委員から、広島大学は5年生で地域実習は1週間だが、島根大学では4週間、医療を含めた多職種チームで実施しているとのことで、広島大学でも機会があれば検討してもらいたいとコメントがあった。学部長から6年生の選択実習で実施できないか検討している旨説明があった。

委員から、今年の4年生は研究生配属で基礎系を選ぶ人が多かった、これは医学研究実習後に共用試験があるからではないか、4年生の医学研究実習を9月から実施できないか、その方が研究に集中できるのではといったご意見があった。また本来は医学科に入学したくなかったという学生がいるが、毎年そのような学生がいるかの調査や、そういう学生にはチュータから話をしてもらい良い方向に学生を送り出せばといったご意見があった。

医学教育センター長から医学研究実習と共用試験の時期についてはこれまでもいろいろな事情、MD-PhDコースへの進学の関係等も含めて検討されてきたと聞いているが、引き続き検討を続けていく旨説明があった。

医学部に来たくなかった学生もいると思うが、学生の意見がイえる風通しの良い環境が必要と考えている旨説明があった。

このあと医学教育センター長からアンケート Forms を送付してご意見をいただくよう予定している旨説明があった。